

2022年度 入試向け

# プレテスト第二回問題

解答用紙	・ ・ ・ ・ ・	P.1-2
国語問題	・ ・ ・ ・ ・	P.3-17
算数問題	・ ・ ・ ・ ・	P.18-22
回答と配点	・ ・ ・ ・ ・	P.23-24
算数解説	・ ・ ・ ・ ・	P.25-26
国語解説	・ ・ ・ ・ ・	P.27-36
成績参考資料	・ ・ ・ ・ ・	P.37
合格判定基準	・ ・ ・ ・ ・	P.38
教科別総括	・ ・ ・ ・ ・	P.39
教科概評	・ ・ ・ ・ ・	P.40
出題意図	・ ・ ・ ・ ・	P.41-42
国語入試問題の出題内容について		P.43-45



**桃山学院高等学校**  
St. Andrew's School





202210130

2022年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第2回  
算数 解答用紙

受験番号				名前
P	0	0	0	0
	1	1	1	1
	2	2	2	2
	3	3	3	3
	4	4	4	4
	5	5	5	5
	6	6	6	6
	7	7	7	7
	8	8	8	8
	9	9	9	9

<b>1</b>	(1)		(2)	
	(3)		(4)	

<b>2</b>	(1)		(2)	枚
	(3)	個	(4)	個
	(5)	円	(6)	分速 m

<b>3</b>	(1)	人	(2)	人
----------	-----	---	-----	---

<b>4</b>	(1)		(2)	( , )	(3)	
----------	-----	--	-----	-------	-----	--

<b>5</b>	(1)	通り	(2)	通り
----------	-----	----	-----	----

<b>6</b>	(1)	cm	(2)	:
----------	-----	----	-----	---

<b>合計</b>
※

桃山学院中学校 プレテスト第二回 問題

国語 [五十分・百五十点]

注意事項

- 1 問題用紙は1ページから15ページまであります。
- 2 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 3 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入してください。
- 4 解答用紙の余白には何も記入しないでください。
- 5 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 6 「終了」の合図で筆記具を置き、監督の先生の指示に従ってください。

受 験 番 号			名 前
P			

① 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限がある)  
問いは、句読点とその他の記号も一字に数える)

いまプラスチックの使用量は世界中でどんどん増えていて、ごみとして捨てられるプラスチックも、やはり増えています。わたしたち人間が作りだしたプラスチックは、そのまま放っておいても、自然になくなるということはありません。小さくくだけてだんだん目につかなくなりませんが、それは「マイクロプラスチック」となって海に広がり、生き物の体の中にも入りこんできています。このまま何もしないでおくと、やがて地球はプラスチックごみだらけになってしまうかもしれません。それを防ぐために、わたしたちは何をすればよいのでしょうか。これから、①その点について考えていきたいと思えます。

不要になったプラスチックで、わたしたちの身の回りや海をできるだけ汚こさないようにするためにまずできるのは、プラスチックごみをきちんと処理することです。そのために、みなさんが住んでいる市や町は、プラスチックごみの捨て方を決めています。

② プラスチックごみを処理する方法のひとつは、集めて燃やすことです。プラスチックは自然にはなくなりませんが、燃やせば二酸化炭素と水になります。もうプラスチックではなくなるわけです。この方法のよいところは、家庭で使い終わったプラスチックの容器などが油などで汚れていても、そのまま燃えるごみといっしょに燃やせばよい点です。手間がかからず、かんたんです。ただし、問題もあります。わたしたちが石油やガソリンなどを燃やすと、二酸化炭素が発生します。その二酸化炭素が大気中

増え、地球の気温は上がり続けています。これが「地球温暖化」とよばれる現象です。地球温暖化が進むと、大雨や強い台風など、災害に結びつく現象が増えると考えられています。プラスチックを燃やすと二酸化炭素が発生するので、これは地球温暖化を進めてしまうことになります。いま世界の国々は、二酸化炭素を出さないように努力する「パリ協定」という約束をして、地球温暖化をできるだけ防ごうとしていきます。プラスチックを燃やせば、そのぶんだけこの約束を守りにくくなります。

プラスチックを燃やして処理するには、きちんとした設備も必要です。ごみとなったプラスチックを燃やすと「ダイオキシン」という有害な物質が発生することがあるので、それがもれ出してわたしたちの身の回りを汚こすことがないようにしなければならぬいからです。

容器などとして使い終わったプラスチックを「ごみ」にしないためには、それを何かの原料としてもういちど使う「リサイクル」という方法があります。

(中略)

プラスチックごみは、紙などのほかのごみとは分けて回収し、リサイクルすることがすすめられています。③では、このリサイクルは、何のためにするのでしょうか。

まずひとつは、ごみを減らすためです。プラスチックにかぎらず、わたしたちが生活すれば、ごみが出ます。燃やせばごみは小さくなりますが、それでも燃えかすは、どこかにうめなければなりません。プラスチックの場合は、きちんと回収できなかつた場合がとくに問題です。川に入り海に流れていけば、世界の海を汚

しつづけることとなります。

プラスチックごみをリサイクルすれば、そのごみは「ごみ」ではなくて、なにかほかのことに役立つ原料になります。そのぶんだけ、原料を節約できることにもなります。こうして「ごみ」を減らすのが、リサイクルの目的のひとつです。

もうひとつの目的は、地球の資源をむだ使いたないことです。いまプラスチックは、石油や天然ガスを原料にして作られています。この石油や天然ガスのもとになっているのは、何億年もまえに地球でくらししていた生き物たちです。かれらが地中にうまり、長い年月をかけて石油や天然ガスに変化します。

わたしたちは、ここ100年ほどのあいだに、石油を多量に使うようになりました。家庭や工場で燃やして熱をとったり、発電用の燃料、自動車のガソリンなどに使われたりしています。長い年月をかけてきた石油を100年ほどで多量に使えば、石油がでるスピードが使うスピードにまったく追いつかず、やがては不足してくるおそれもあります。プラスチック製品を作るときにプラスチックごみを再利用すれば、そのぶんだけ新たに石油を使う必要がなくなり、石油を節約できるわけです。

リサイクルと石油の節約について、もうすこしお話ししましょう。

ペットボトルや、食品がのっていた発泡スチロール製の白いトレイなどを捨てるときは、汚れたままではリサイクルしにくいので、水で洗って、ある程度きれいにしてから捨てることになっていきます。

ほんとうは、きれいにすればするほど、そのプラスチックごみを次のプラスチック製品の原料にするには都合がよいのですが、

これはかならずしも「リサイクル」の本来の目的に<sup>A</sup>かなうとはかぎりません。

a 水では汚れが落ちにくいのでお湯を使ったとします。お湯をわかすにはエネルギーが必要です。エネルギー源として石油を使ったとすると、必要な石油の量は、そのプラスチック製品を石油から新しく作るより多いという見方もあります。リサイクルのためにきれいに洗おうとしてお湯を使うと、かえってたくさんのお湯を使ってしまうことになるのです。

また、ジュースを売るとき、ペットボトルの代わりに、くりかえし使えるガラスのびんを使ったとしましょう。たしかにプラスチックの節約にはなりますが、重くなるので、トラックなどで運ぶときに、より多くのガソリンを使うこととなります。プラスチックを使わないようにするためにガソリンをたくさん使うというのは、何のためにプラスチックを節約しているのかわかりません。

食べ物を含むプラスチックは、その食べ物が傷まないようにする役目もはたしています。もしプラスチックを使わないことになれば、食べ物が傷んだりくさったりしやすくなって、食べられずに捨てなければならぬ食べ物が増えるかもしれません。これも資源のむだ使いです。

④ プラスチックをどのようにリサイクルすればよいのか。プラスチックをできるだけ使わないようにしたとき、かえってむだやごみが増えるのではないか。どうすれば資源の節約になり、しかも、プラスチックごみで汚れていない地球でくらすことができるのか。プラスチックは、わたしたちの生活に深く入りこんでいるだけに、さまざまな社会の問題とも結びついています。こうした問題に答えるには、プラスチックごみのことだけではなく、わた

私たちの暮らしや社会のしくみ全体を考えていかなければなりません。わたしたちはこれから、どういう社会をどのようにして作っていけばよいのか。それは、わたしたち一人ひとりが考えなければならぬ問題です。

川岸や海岸には、たくさんプラスチックごみが流れついています。放っておけば、やがて小さくくだけてマイクロプラスチックになり、回収できない状態で長いあいだ海をただよふことになるのかもしれませんが。そうならないうちに、できるかぎりそうじして回収しておこう。そう考えて活動を続けている人たちがいます。

⑤ 「荒川クリーンエイド・フォーラム」も、そのひとつです。

アメリカの首都ワシントンには、海の環境を守るための活動をしている「オーシャン・コンサーバシー」という団体があり、そこが中心となって、世界中で海岸のごみをそうじする「国際海岸クリーンアップ」を実施しています。この活動をきっかけにできた国内の団体もあります。美しい海、美しい地球をめざして、多くの人たちががんばっています。

こうしたごみそうじは、とても大変です。ペットボトルは、まだいいほうです。きちんと形をたもっているの、拾い集めることができます。ですが、河原にうまったレジ袋は、引っぱりだそうとすると、ぼろぼろにちぎれてしまいます。太陽の紫外線があるため、プラスチックがすっかり弱くなってしまっているのです。これでは集めようがありません。いつかは海に流れこんで、マイクロプラスチックになるでしょう。それに、こうして川や海をいちどそうじしても、しばらくたつと、またたくさんのごみが流れついて、もとのようになってしまいます。それならば、川や海

のそうじなんて、しても仕方ないのでしょか。

⑥ きっと、それは違います。みなさんは、自分の部屋をそうじしたとき、どんな気分になるでしょうか。すっきりとよい気分になって、できるだけ汚さないようにしたくなりませんか。ごみがれば、放っておかずにごみ箱に捨てるでしょう。どうせごみになるものは、部屋に持ちこまないようにするかもしれません。いずれまた汚れるにしても、「やっぱり部屋は、きれいなほうがいいな」という気持ちになれると思います。

川岸や海岸のそうじは、もちろんそれで放置されたごみが少なくなるのですから、**B** 現実的な意味をもっています。ですが、おそらく、それだけではありません。部屋をそうじしたときのように、「こんなきれいな海にしておきたい」「ペットボトルのポイ捨ては、もう絶対にやめよう」という気持ちになれることも、とても大切なことです。

子どもたちばかりではありません。おとなだって、そうです。いまおとなが海をプラスチックごみで汚せば、マイクロプラスチックだらけの海を子どもたちに残すことになってしまうかもしれない。自分たちが汚した海で自分たちが苦しむなら、**C** まだしも、子どもたちを苦しめるのは、絶対にさけない。そういう気持ちになるはずですよ。

世界中で1年間に何億トンのプラスチックが**D** 生産されたとか、海に何百万トンのプラスチックごみが流れこんだとかいわれても、あまりに数字が大きいため実感がありません。ですが、川岸や海岸に散らばっているたくさんペットボトルやレジ袋を実際に自分の目で見ると、その数字がどういうことを意味しているのかが、はっきりとわかります。

こうした活動を通して、プラスチックごみが川を、そして海を汚していることを実感し、それをすこしても食い止めるよう、自分の生活を工夫くふうしてみるのが大切です。プラスチックごみを減らすためには、<sup>①</sup>社会のしくみが変わっていくことと同時に、みなさん一人ひとりの心がけも大切なのです。

(保坂直紀「クジラのおなかからプラスチック」)

\*問題作成の都合上、文章を改変した部分がある。

問1 —— A「かなう」・C「まだしも」の本文中での意味として最も適切なものをそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。

A「かなう」

- あ 大差がある                    い 不満が残る  
う あてはまる                    え 望み通りになる

C「まだしも」

- あ 覚悟かくごしているが                    い 不十分であるが  
う たえられないが                    え 多少はよいが

問2 —— B「現実」・D「生産」の対義語となるものをそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。

- あ 連続                    い 理想                    う 厳密  
え 制作                    お 消費

問3 a にあてはまる言葉として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ たとえば                    い すなわち  
う したがって                    え ただし



問4 — ①「その点」とはどのような点か。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 地球をプラスチックごみだらけにしないために「マイクロプラスチック」の問題をいかに解決するかという点。  
 い 地球がプラスチックごみでいっぱいにならないようにするためにすべきことは何かという点。  
 う 海に広がっている「マイクロプラスチック」をどのように回収するのがよいかという点。  
 え 海洋生物の体内に入りこんだ「マイクロプラスチック」は人体への悪影響があるのかどうかという点。
- 問5 — ②「プラスチックごみを処理する方法のひとつは、集めて燃やすこと」とあるが、この部分に関する説明として適切なでないものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 手軽な処理方法ではあるが、環境に配慮して慎重に行わなければならない。  
 い 大量のプラスチックをゴミとして燃やしたことが、地球温暖化を招いた一番の原因である。  
 う プラスチックを燃やせば二酸化炭素が発生する問題があり、最適な方法とはいえない。  
 え 燃やすと有害な物質が発生し得るため、その対策を行うための設備が必要になる。

問6 — ③「ては、このリサイクルは、何のためにするのでしようか」とあるが、プラスチックなどのごみを燃やす場合と、リサイクルする場合を比べた次の表中の X・Y・Z にあてはまる言葉を（ ）内の字数指定にしたがって本文中からぬき出しなさい。

処理の方法	その結果
燃やす	・ X (四字) が残るため、うめるための場所が必要になる。
リサイクルする	・ ゴミが Y (十一字) に変わり、ゴミの削減につながる。 ・ 石油や天然ガスといった Z (五字) になる。

問7 — ④「プラスチックをどのようにリサイクルすればよいのか」とあるが、筆者はリサイクルによって起こるどのようなことをふまえてこのように述べているのか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ リサイクルにより石油は節約できるが、人々の生活が貧しくなること。  
 い リサイクルをすることで、ゴミとして捨てられるプラスチック製品が増えていること。

う リサイクルには、石油にかわる新しいエネルギー源の開発がともなうこと。

え リサイクルのために、石油をたくさん使ってしまう場合があること。

問8 — ⑤ 「『荒川クリーンエイド・フォーラム』も、そのひとつです」とあるが、このような団体の活動目的を説明した次の文の□にあてはまる内容を本文中から二十一字でぬき出しなさい。

※海岸や川岸に放置されたプラスチックごみが□という事態を止める目的。

問9 — ⑥ 「きっと、それは違います」とあるが、このように「言える理由として適切でないものを後から選び、記号で答えなさい。」

あ そうじをすれば、その分だけ確実にごみが減るから。

い 川や海をそうじするとすっきりした気分になれるから。

う 一人がそうじをすると、みんながそれを見ならうから。

え 川や海をきれいに保とうとする気持ちが芽生えるから。

問10 — ⑦ 「社会のしくみが変わっていくこと」とあるが、プラスチックごみを減らすために「社会のしくみ」を変える必要があるのはなぜか。その理由を説明した次の文の□にあてはまる内容を本文中から十八字でぬき出しなさい。

※プラスチックが□から。

問11 次の①～③の各文について、本文の内容と照らし合わせて、正しければTを、間違っていればFを書きなさい。

① 川や海に流れこんだプラスチックごみがどのくらいの量にのぼるのかについて具体的な数値を示すことで、環境問題が身近なものとして感じられるようになる。

② リサイクルの工程だけを考えると、リサイクルされるプラスチック製品を、それが製造されたときに近い、きれいな状態にもどすのが望ましい。

③ プラスチックを放置しておくじよと徐々に小さくはなるが、プラスチックそのものが完全になくなることはないため、地球環境に深刻な被害ひがいをもたらしている。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限がある  
問いは、句読点とその他の記号も一字に数える)

高校生の西村拓海の祖父は、みかん畑で働いている農家である。拓海はあまり乗り気ではなかったが、ひよんなことから、クラスメイトの長谷川ひなたと一緒に、祖父のみかん畑の手伝いをするようになる。

「①盆休みが来るのに困ったのう」

父さんは頭をかいた。大型台風が近づいているというニュースだった。このあたりを直撃するコースになるかもしれないと報じている。

「キャンセルが出んといいいね」

母さんも心配そうに言った。確かにホテルはかきいれどきだ。

翌々日になると、台風のコースはかなり西にそれるとわかった。

ただ、台風予報円の右半分に入るために雨風は強いらしい。

午後には台風が最接近するという日、母さんは仕事に行く前に、まだ寝ている拓海の部屋に上がってきた。

「一階は雨戸を閉めといたから。二階も風が強くなったら閉めてね」

正午を過ぎたころ、雨音が聞こえてきた。どこからかすさま風も入ってくるらしい、ぴーっとと笛のような変な音もする。

ベッドに寝転んでいた拓海は立ち上がり、窓を見た。雨は思ったほど強くなかった。でも風が強い。隣の家の木が、今にも折れそうなくらい、大きく揺れている。

拓海は X した。

畑の二段目の一番奥にある木。

急いでレインコートを探した。高校に入学するときに自転車通学用に用意してもらったものがあるはずだ。それをタンスの一番下のひきだしに見つけるとすぐに羽織り、タオルと長靴をポリ袋に入れて自転車のカゴに放り込み、ビニール傘を一本、自転車の後ろの車輪とサドルのあいだに差し込んだ。

家を出たときは小雨だったが、急に激しくなったり弱くなったりを繰り返す。向かい風ではなく追い風なのがせめてもの救いだ。でも時折、横風に変わり、自転車が倒れそうになる。

やっとじいちゃんの家の前まで行くと、自転車を門の前にとめさせてもらい、長靴にはきかえ、傘をさして歩いてのぼった。

畑にたどりついた。

みかんの木たちは強風が吹くたび、踊るように激しく揺れていた。でも見た限り、実は落ちていない。枝が折れているものもなさそうだ。

一番奥にある長谷川の木も無事だった。拓海はほっとした。

緑色の葉っぱの中に、そっくりの緑色をして五、六センチに育った実たちがちゃんという。

が、突風が吹くと、ものすごく大きく枝が揺れる。これがずっと続いたら実が落ちそうだ。

②拓海は試しに傘を木にさしかけてみた。そうすると木の一部分だけが、雨風が避けられる感じだ。でも傘が木に当たらないよう注意してさしかけるのは力が必要だった。だんだん手がしびれてくる。

この木全体を保護するにはどうしたらいいんだろう。たとえば巨大なシートでこの木をすっぽりと上から包めたらいいのに。

「③おいっ」

振り返ると、カッパを着たじいちゃんが仁王立ちしていた。

「こんなときに何しとるんじゃ。危ないじゃろ」

「ごめん」

拓海は慌てた。

「ばあちゃんがさつき拓海が自転車をとめて坂を上がっていくの  
が見えたって言うけえ、急いで車で追いかけてきたんじゃ」

「大丈夫か気になって」

「大丈夫って何が」

「この木の実が落ちたりしとらんかなと思って」

「ああ、④ひなたちゃんの木か」

その瞬間、ものすごい風が吹いた。

体がよろけて思わずしゃがむ。風の音、葉がこすれあう音がす  
ごい。

数秒後、風がややおさまった。じいちゃんが風の音に負けない  
ように大声で言った。

「じゃけど、もう遅いわ」

「遅い？」

「そんな心配は台風が来る前にせんと。台風が来てからじゃ、も  
う遅い」

言われたら確かにその通りだ。がっかりした拓海を見て、じい  
ちゃんがちよつとやわらかな声になる。

「まあそれに、今回の台風はたぶん大丈夫じゃ」

「ほんま？」

「でも、わざわざ来たんじゃ。拓海の気がすむように何かやる  
か」

⑤ ついてこい、と言い、じいちゃんは畑の入り口に戻った。倉  
庫を開け、竹の棒の束から一本を抜き出すと、二人でまた長谷川  
の木のところに行った。

じいちゃんはその竹の棒をみかんの木の根元に差し込み、木の  
幹と竹の棒をロープでくくった。

そのあいだ、拓海は中腰になって竹を支えた。【あ】枝が揺れ、  
体や顔に濡れた葉っぱが当たる。もう何もかもびしょ濡れだ。草  
たちも濡れてつぶれている。

「これでちよつとは倒れにくくなったじゃろ」

「うん」

じいちゃんが拓海を見た。

「心配なら明日、また様子を見にくるんよ」

「わかった」

次の朝、雲ひとつない晴天になった。台風は夜のうちに離れ、  
風もやんだ。外に出ると、道路も地面ももう乾いている。

畑に着くと、じいちゃんはもう来ていた。畑の下の段のほうで  
作業しているのが見えたが、拓海は先に長谷川の木を見に行く。

昨日の竹はすでに抜いてあった。見たところ実もまったく落ち  
ていないし、枝も折れていない。よかった。【い】

じいちゃんが後ろからやってきた。

「無事じゃろ」

「うん」

「でも雨風で汚れたから水で流してあげたらええ。そこにホース  
を出しとる」

「わかった」

拓海はホースをひっぱってきて、枝や葉を丁寧ていねいに水で洗い流してやった。【う】

そのあと、じいちゃんのところに行った。じいちゃんは脚立きょうたつに乗っている。

「何しよるん」

「摘果てっか」

実の数を減らす作業だと思出した。

「先月もやったけど、今年はやっぱ実が多すぎるわ」

言いながら、じいちゃんは手早くもいでいく。【え】

「どういう基準（注2）でもぎよるん？」

じいちゃんはいだ実を見せた。

「この実は、ちよつと黄色くなつとるじゃろ。でもこれは熟（注3）したんじゃのうて太陽に当たりすぎてやけどしたんよ。枝のてっぺんで逆さになつたせいじゃ」

確かに少し黄色くなっている。するとまた別の実も見せた。

「これはちよつと大きすぎる。でも、こっちは小さすぎる」

「ほんまじゃ」

「拓海もやってみるか、と言いたいけど、ちよつと難しいかもしれん」

「うん、難しそう」

拓海はしばらくじいちゃんが摘果しているのを眺ながめていた。じいちゃんは次々に実を取っていくが、<sup>⑥</sup>やっぱりよくわからない。

さっきの説明のような日焼けしているのはダメだというのはわかったが、そうでないのはどういう基準で取っているのか。でも、じいちゃんは枝の向きや形を見てさつと取っていく。どれを取り、どれを残すか判断が早い。

じいちゃんが手を止めた。

「やりたいんか」

「いや、やりたくない。すごいなあと思って見とるだけ」

じいちゃんがちよつと笑った。

「拓海にすごいって言われて光栄じゃ」

拓海はふと思った。

「長谷川の木も摘果した？」

「ひなたちゃんの木は実が小さいうちにひなたちゃんが自分で

やったよ」

<sup>⑦</sup>「そうなのか。そういえば柴（注4）も、葉っぱが二十五枚につき一個の実がちよつどいいと言っていた。

「みんな、すごい」

「拓海もすごいよ」

「なんもすごいくない」

「いや、すごいスピードで変わりよる」

じいちゃんはまた笑った。

（魚住直子「みかん、好き？」）

※（注1）カッパ＝レインコート。

（注2）もぎよるん＝もいでいるのか。

（注3）熟したんじゃのうて＝熟したのではなくて。

（注4）柴＝拓海のクラスメイト。

問1 — ①「盆休みが来るのに困ったのう」とあるが、困っているのはなぜか。その説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 大型の台風が近づいているので、拓海の祖父のみかん畑にもこれから被害が出るかもしれないから。
- い 大型台風が付近を直撃するかもしれないと聞いて、稼ぎどきのホテルの建物がいたむ心配をしたから。
- う 盆休みを家族でホテルで過ごすのを楽しみにしていたのに、キャンセルすることになりそうだから。
- え お盆はホテルにとって大切な時期なのに、台風のせいでは予約のキャンセルが出るかもしれないから。

問2 [X] にはあてはまる言葉として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ はつと      い かつと
- う むつと      え ほつと

問3 — ②「拓海は試しに傘を木にさしかけてみた」とあるが、これはどのような様子を指しているか。その様子を説明した次の文の [ ] にはあてはまる言葉を、「長谷川」「突風」という言葉を必ず用いて、五十字以内で書きなさい。

※ [ ] 様子。

問4 — ③「おいっ」とあるが、このときの「じいちゃん」の心情として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- あ 自分たちに何も告げず、台風で危険な中を出かけていった拓海を見つけることができ、満足する気持ち。
- い 台風で強い風雨の中、わざわざ一人で自転車のみかん畑に出かけた拓海のことを、本気で心配する気持ち。
- う みかん畑には多くの木があるのに、一本だけを特別に守ろうとする拓海に、納得がいかない気持ち。
- え 傘を木にさしかけたところで気休め程度にしかならないのに、必死になる拓海にあきれる気持ち。

問5 — ④「ひなたちゃんの木」とあるが、この木はどこにあるか。それがわかる表現を本文中から九字でぬき出し、最初の三字を書きなさい。

問6 — ⑤ 「ついでこい」とあるが、このときの「じいちゃん」の様子として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 拓海がつまらなそうにしているので、今後のために台風の対策の仕方を教えておこうとする様子。

い みかんの木を心配する拓海を安心させ、みかんを守ろうとする孫の気持ちを尊重しようとする様子。

う 今からでも間に合う対策をして台風から少しでもみかんの木を守り、ひなたを悲しませまいとする様子。

え みかんを守る作業を通して拓海に仕事の大変さを体験させ、勝手な行動を反省させようとする様子。

問7 — ⑥ 「やっぱりよくわからない」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 摘果では、日焼けをしている実の他には、どういう基準で実を取るのか、わからないこと。

い 何のために大切な実を減らす摘果作業をするのか、祖父の説明を聞いても理解できないこと。

う どうして太陽に当たりすぎて黄色くなった実以外にも実を取るのか、納得がいかないこと。

え 摘果ではどういう実を取り、どういう実を残すのか、選別の基準について何一つわからないこと。

問8 — ⑦ 「そうなのか」とあるが、このときの「拓海」の心情として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 安心

う あきれ

え 感心

問9 あるクラスで、国語の時間にこの本文の内容について話し合った。次は、本文に登場する「拓海」について話し合っている坂井さんのグループの様子である。話し合い中の [Y]・[Z] にあてはまる言葉を、[Y] は本文中から十四字でぬき出して最初の七字を書き、[Z] は最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

坂井 「拓海」は「じいちゃん」に摘果をやりたいかと聞かれ、「やりたくない」と答えています。「拓海」は元々手伝いにも乗り気ではなかったし、みかん作りに興味を持ってないのだからと思いましたが、なぜなら、「拓海」は台風から木を守ろうと格闘したけれど、それはみかんを守りたいという純粋な気持ちからではなく、長谷川さんへの好意から行動したように感じられたからです。孫にみかん作りのことを教えようとしている「じいちゃん」がかわいそうに思いました。

森本 でも、「拓海」の [Y] という言葉からは、祖父に対する尊敬の気持ちが感じられます。わたしは、「拓海」はみかん作りに興味がないのではなく、摘果という作業の難しさと大切さを理解しているからこそ遠慮したんじゃないかと思っています。

梅田 確かに「拓海」が、祖父の説明を聞くだけでなく、

作業をよく観察し、自分なりに摘果の基準について考えている姿勢からは、みかん作りへの興味が読み取れます。つまり「拓海」は、最初は確かに興味がなかったけれど、Zんじゃないかと思えます。

夢野 こういう「拓海」の変化に、「じいちゃん」は孫の成長を実感してうれしくなり、「拓海もすごい」「すごいスピードで変わ」と言ったのかもしれないね。

あ 長谷川さんや柴くんが難しい摘果に挑戦したことを聞いて、自分も負けたくない気持ちになった

い 長谷川さんに好意を抱いたことで、いいところを見せようと、みかん作りをがんばる気になった

う 祖父との作業やみかん作りの話に加えて、長谷川さんや柴くんから刺激を受け、気持ちに変化した

え 長谷川さんと祖父のみかん作りを手伝っているうちに、みかん作りの奥の深さに気がついた

問10 本文中に登場する「じいちゃん」はどのような人物として描かれているか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 将来の跡つぎとして拓海に期待を寄せ、優しく導く人物。

い みかん作りに情熱を燃やし、拓海にも熱心に教育する人物。

う みかん作りに誇りを持ち、孫に対しては冷静に接する人物。

え 拓海を適度な距離から優しく見守り、成長を喜ぶ人物。

問11 本文中に登場する「拓海」はどのような人物として描かれているか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

あ 友達思いで優しい性格だが、何事にも臆病な人物。

い 慎重な人柄だが、素直で行動力のある一面も持つ人物。

う 周囲と自分を常に比べて落ちこむ、劣等感の強い人物。

え 一見おとなしいが、祖父への思いやりのある優しい人物。

問12 本文には、次の一文がぬけ落ちている。【あ】～【え】のうちどこに戻すのが最も適切か。記号で答えなさい。

やっていると、この木だけをひいきして悪い気がして、隣の木にもかけた。



問13 本文の内容に合っているものを後から一つ選び、記号で答えなさい。

あ 拓海は大型台風が来るというニュースを聞いてからみかん畑のことを心配していたが、正午を過ぎて雨風がひどくなってきたので、畑に向かうことを決意した。

い 拓海は傘をみかんの木にさしかけてみたが、効果はあるものの、手がしびれて長い時間は続けられないので、木全体を守る他の方法がないか、祖父に質問した。

う みかんの木を摘果する自分の作業を熱心に見ていた拓海から「すごい」と言われた祖父は、拓海本人はまったく自覚していない変化に気づき、うれしく感じて笑顔を見せた。

え 拓海は大雨の中、祖父の指示に従い、倉庫から持ってきた竹の棒と木の幹をロープでくくる作業をしたので、体中がびしょ濡れになり、うんざりしていた。

三 次の各問いに答えなさい。

問1 次の——線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

- ① 最高権力者としてクンリンする。
- ② 世界平和についてのペンロン大会。
- ③ 的の中心をねらって矢をイる。
- ④ パソコンで編曲する。
- ⑤ 従業員に賃金を支払う。
- ⑥ 部屋を通る風が快い。

問2 次の各文のA・Bにあてはまる漢字を後の「」のグループからそれぞれ選び、使われずに残った漢字を一字書きなさい。

- ① 畑で野菜をAる。
- 貨物船をBる。

〔創・作・造〕

- ② ビジネスで成功をAめる。
- 王様が広大な国をBめる。

〔治・収・修〕

問3 次の熟語の対義語を後から選び、記号で答えなさい。

- ① 許可                    ② 拡大
- ③ 部分                    ④ 反対
- ⑤ 集合                    ⑥ 未来

- あ 賛成                    い 禁止                    う 縮小
- え 解散                    お 全体                    か 過去

四 次の各問いに答えなさい。

問1 次の□にあてはまる生き物の名前をひらがなで書き、ことわざを完成させなさい。また、その意味を後から選び、記号で答えなさい。

- ① 能ある□は爪をかくす
- ② □て鯛を釣る

- あ 他人のものを利用して、自分の目的を果たすこと。
- い わずかな元手で、大きな利益を得ること。
- う 悪いことは周囲に広まりやすいこと。
- え 実力のある者はむやみにそれを見せないこと。

問2 次の①～④の四字熟語の□にあてはまる数字を足していくと、合計はいくつになるか。その数を後から選び、記号で答えなさい。

- ① 四苦□苦                      ② □朝一夕あさ  
③ □方美人                      ④ 朝三暮あ□

あ 20                      い 21  
う 22                      え 23

問3 次の文中の□が直接かかる言葉をそれぞれ文中のあ～きから選び、記号で答えなさい。

- ① 毎日 □あ森の □い奥おくでは                      ⑤ たくさんの                      ⑥ リスたちが  
② 大急ぎで                      ⑦ かどんぐりを                      ⑧ 集める。

- ② □あ祖父は                      □い今朝                      □めずらしく                      □う起きるのが  
③ え遅おそかったが                      □おいつもは                      □かもっと                      □き早い。

問4 次の□A・□Bにあてはまる最も適切な表現をそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。

(ケーキ屋さんとの電話で)

「顔写真をもとにした、似顔絵のイラストが描かかれた誕生日ケーキを注文したいのですが、□A。」

「顔写真につきましては、ホームページに載のせている連絡先までメールでお送りください。あるいは、当店まで直接□B。」

□A

あ 写真はどのように拝見なさいますか

い 写真はどのようにお届けになればよいですか

う 写真はどのようにお送りいたしますでしょうか

え 写真はどのようにお渡わたしすればよいですか

□B

あ お持ちいただけますか

い お持ち申し上げてください

う お持ちになられていただけますか

え お持ちいたしましょう

以上で問題は終わります。

2022年度 入試向け  
桃山学院中学校 プレテスト第2回 問題

# 算 数

【50分・150点】

## 注 意 事 項

- 1 問題は1ページから5ページまであります。
- 2 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 3 円周率は、3.14とします。
- 4 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 5 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入しなさい。
- 6 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 7 「終了」の合図で鉛筆を置き、監督の先生の指示に従いなさい。

	受 験 番 号	名 前
P		

1 次の  にあてはまる数を答えなさい。

(1)  $(9 - 6 \div (4 + 2 \times 7) \times 15) \times 38 =$

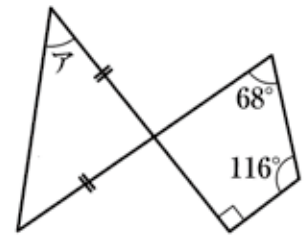
(2)  $66 \times 98 - 99 \times 62 + 33 \times$    $= 3300$

(3)  $\frac{13}{28} \div \left( \frac{7}{15} - \frac{5}{21} \right) \times 3.2 =$

(4)  $48\text{dL} - 3000\text{cm}^3 + 0.02\text{m}^3 =$    $\text{L}$

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 右の図で、同じ印をつけた部分の長さが等しいとき、アの角の大きさは何度ですか。



- (2) 姉と妹が持っているカードの枚数の比は5:2でしたが、姉が妹に3枚あげたので枚数の比は2:1になりました。2人の持っているカードの枚数の合計は何枚ですか。
- (3) ご石を正方形にすき間なくならべると、いちばん外側のご石の個数が48個になりました。ご石は全部で何個ありますか。
- (4) 何人かの子どもにみかんを配ります。1人に3個ずつ配ると8個余り、1人に5個ずつ配ると2人には1つも配ることができず残りの子どもには5個ずつ配ることができました。みかんは全部で何個ありますか。
- (5) ある商品に仕入れた値段の60%の利益を見こんで定価をつけましたが、売れなかったので定価の25%引きで売ると400円の利益になりました。この商品の仕入れ値は何円ですか。
- (6) 1周720mの池の周りを、A、B、Cの3人が同じ場所から同時に出発します。Aは分速105mで時計回りに、Bも一定の速さで時計回りに、Cは分速75mで時計と反対回りに進むと、CはAと出会ってから1分後にBと出会いました。Bの速さは分速何mですか。

**3** 40人の学級で、ハンカチとティッシュを持ってきたかどうかを調べました。ハンカチを持ってきた人はティッシュを持ってきた人より2人多く、どちらも持ってきた人は全体の40%、どちらも持ってこなかった人は全体の15%でした。次の問いに答えなさい。

- (1) ハンカチとティッシュの少なくともどちらかを持ってきた人は何人ですか。
- (2) ハンカチだけを持ってきた人は何人ですか。

**4** 右の図1のように、奇数を1から順にならべていきます。1のある位置をもとにすると、17のある位置は、左から2列目、上から3行目なので、その位置を(2, 3)と表すことにします。次の問いに答えなさい。

図1

1	3	7	13	21	·
5	9	15	23	·	·
11	17	25	·	·	
19	27	·	·		
29	·	·			
·	·				

(1) (1, 9)の位置にある数を求めなさい。

(2) 99のある位置を( , )で表しなさい。

(3) 図2は図1のある部分で、4つの数ア, イ, ウ, エが並んでいます。ア, イ, ウ, エの合計が570になるとき、イにあてはまる数を求めなさい。

図2

	ア	イ
	ウ	エ

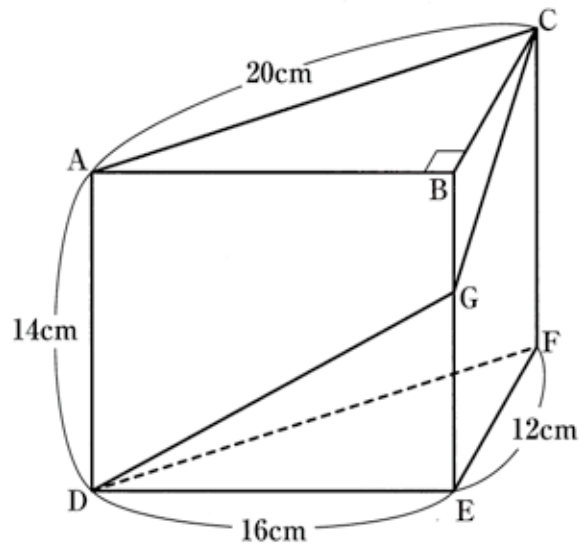
- 5 下のような直線上にある点があります。点は始め A の位置にあり、1つのさいころをふって、奇数の目が出たときは左に、偶数の目が出たときは右に、出た目の数のマス目だけ点を動かすこととします。たとえばさいころを2回ふって出た目が1, 4のとき、点はAの位置から左に1マス動かしてから右に4マス動かすので、Aの位置より右に3マスのところに動きます。次の問いに答えなさい。



- (1) さいころを2回ふった後に、点がAの1マス右の位置にある目の出方は全部で何通りですか。
- (2) さいころを3回ふった後に、点がAの位置にある目の出方は全部で何通りですか。



- 6 下の図のような三角柱の頂点Cから辺BEを通して頂点Dまで糸を巻きつけました。糸の長さが最も短くなる時に糸が辺BEと交わる点をGとすると、次の問いに答えなさい。



- (1) EGの長さは何cmですか。
- (2) 3点C, D, Gを通る平面で三角柱を切ったとき、切り口より上の立体の体積と切り口より下の立体の体積の比を求めなさい。

以上で問題は終わりです。

2022年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第2回

# 解答と配点

## 目次

### 解答

1 国語 (50分・150点) ..... P. 1

2 算数 (50分・150点) ..... P. 1

配点 ..... P. 2

# 解 答

## 国 語

- 一 問1 A う C え 問2 B い D お  
問3 あ 問4 い 問5 い  
問6 X 燃えかす Y ほかのことに役立つ原料 Z 資源の節約  
問7 え 問8 海に流れこんで、マイクロプラスチックになる  
問9 う 問10 わたしたちの生活に深く入りこんでいる (から。)  
問11 ① F ② T ③ T
- 二 問1 え 問2 あ  
問3(例) 突風が長く続いたら長谷川の木についている実が落ちてしまいそうなので、  
木を雨風から保護しようとする (様子。) [48字]  
問4 い 問5 畑の二 問6 い 問7 あ  
問8 え 問9 Y すごいなあと思 Z う 問10 え  
問11 い 問12 う 問13 う
- 三 問1 ① 君臨 ② 弁論 ③ 射(る)  
④ へんきょく ⑤ ちんぎん(「ちんきん」も可とする) ⑥ ころよ(い)  
問2 ① 創 ② 修  
問3 ① い ② う ③ お ④ あ ⑤ え ⑥ か
- 四 問1 ① たか・え ② えび・い 問2 い  
問3 ① き ② え 問4 A え B あ

## 算 数

- 1 (1) 152 (2) 90 (3)  $\frac{13}{2}$  (4) 21.8
- 2 (1) 47度 (2) 63枚 (3) 169個 (4) 35個  
(5) 2000円 (6) 分速69m
- 3 (1) 34人 (2) 10人
- 4 (1) 89 (2) (6, 5) (3) 141
- 5 (1) 6通り (2) 18通り
- 6 (1) 8cm (2) 10:11

# 配 点

## 国 語

一	問 1…各 2 点 問 4…4 点 問 7…4 点 問 10…4 点	問 2…各 2 点 問 5…4 点 問 8…4 点 問 11…各 2 点	問 3…4 点 問 6…各 2 点 問 9…4 点	合計 48 点
二	問 1…4 点 問 4…4 点 問 7…4 点 問 10…4 点 問 13…4 点	問 2…4 点 問 5…4 点 問 8…4 点 問 11…4 点	問 3…10 点 問 6…4 点 問 9…各 2 点 問 12…4 点	合計 58 点
三	各 2 点			合計 28 点
四	問 1…各 2 点 (各完答) 問 3…各 2 点	問 2…4 点 問 4…各 2 点		合計 16 点

## 算 数

1	各 8 点	合計 32 点
2	各 8 点	合計 48 点
3	各 8 点	合計 16 点
4	各 6 点	合計 18 点
5	各 9 点	合計 18 点
6	各 9 点	合計 18 点

# 2022年度入試向け プレテスト第2回

## 解説

**1** 計算問題

- (1)  $\{9 - 6 \div (4 + 2 \times 7) \times 15\} \times 38 = (9 - 6 \div 18 \times 15) \times 38 = (9 - 5) \times 38 = 4 \times 38 = 152$
- (2)  $66 \times 98 - 99 \times 62 + 33 \times \square = 3300 \rightarrow 33 \times 2 \times 98 - 33 \times 3 \times 62 + 33 \times \square = 3300$   
 $\rightarrow 33 \times 196 - 33 \times 186 + 33 \times \square = 33 \times 100 \rightarrow 33 \times (196 - 186 + \square) = 33 \times 100$   
 $\rightarrow 196 - 186 + \square = 100 \rightarrow \square = 100 - (196 - 186) = 90$
- (3)  $\frac{13}{28} \div \left( \frac{7}{15} - \frac{5}{21} \right) \times 3.2 = \frac{13}{28} \div \frac{8}{35} \times \frac{16}{5} = \frac{13}{28} \times \frac{35}{8} \times \frac{16}{5} = \frac{13}{2}$
- (4)  $48\text{dL} - 3000\text{cm}^3 + 0.02\text{m}^3 = 4.8\text{L} - 3\text{L} + 20\text{L} = 21.8\text{L}$

**2** 小問集合

- (1) 四角形の残りの角の大きさは、 $360^\circ - (116^\circ + 90^\circ + 68^\circ) = 86^\circ$  向かい合う角の大きさは等しいから、アの角の大きさは、 $(180^\circ - 86^\circ) \div 2 = 47^\circ$
- (2) やりとりをする前後の枚数の合計は変わっていない。姉の枚数は、はじめが合計の  $\frac{5}{5+2} = \frac{5}{7}$ 、3枚あげた後が  $\frac{2}{2+1} = \frac{2}{3}$  だから、あげた枚数は合計の、 $\frac{5}{7} - \frac{2}{3} = \frac{1}{21}$   
合計は、 $3 \div \frac{1}{21} = 63$ (枚)
- (3) 正方形の1辺は、 $48 \div 4 + 1 = 13$ (個) 全部で、 $13 \times 13 = 169$ (個)
- (4) 1人に5個ずつ配るには、 $5 \times 2 = 10$ (個)足りない。1人あたり、 $5 - 3 = 2$ (個)の差が人数分集まり、 $8 + 10 = 18$ (個)の差になっているから、 $18 \div 2 = 9$ (人) みかんは、 $3 \times 9 + 8 = 35$ (個)
- (5) 売り値は仕入れ値の、 $(1 + 0.6) \times (1 - 0.25) = 1.2$ (倍)だから利益の400円は仕入れ値の、 $1.2 - 1 = 0.2$ (倍)にあたる。仕入れ値は、 $400 \div 0.2 = 2000$ (円)
- (6) CがAと出会うのは出発してから、 $720 \div (105 + 75) = 4$ (分後)、Bと出会うのは出発してから、 $4 + 1 = 5$ (分後) BとCの分速の和は、 $720 \div 5 = 144$ (m) Bの分速は、 $144 - 75 = 69$ (m)

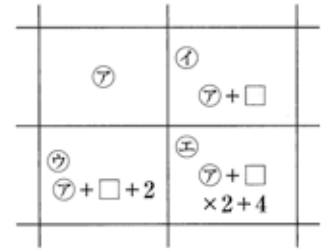
**3** 集合の問題

- (1) どちらも持ってこなかった人は、 $40 \times 0.15 = 6$ (人)だから少なくともどちらかを持ってきた人は、 $40 - 6 = 34$ (人)
- (2) どちらも持ってきた人は、 $40 \times 0.4 = 16$ (人) ハンカチだけを持ってきた人とティッシュだけを持ってきた人の和は、 $34 - 16 = 18$ (人) ハンカチだけを持ってきた人は、 $(18 + 2) \div 2 = 10$ (人)

**4** 数表の問題

- (1) (1, 1)は1番目の奇数、(1, 2)は、 $1 + 2 = 3$ (番目)の奇数、(1, 3)は、 $1 + 2 + 3 = 6$ (番目)の奇数、…より、(1, 9)は、 $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 = 45$ (番目)の奇数だから、 $2 \times 45 - 1 = 89$ である。
- (2) 99は、 $(99 + 1) \div 2 = 50$ (番目)の奇数で、 $50 = 45 + 5$ だから(1, 9)の5個後の場所にある。上から5行目で左から、 $10 - 5 + 1 = 6$ (列目)だから(6, 5)

- (3)  $\textcircled{イ}$ が $\textcircled{ア}$ より $\square$ 大きい数であるとき、 $\textcircled{ウ}$ は $\textcircled{イ}$ より2大きい数、 $\textcircled{エ}$ は $\textcircled{イ}$ より、 $\textcircled{ウ}-\textcircled{ア}$ と比べて2大きい数の $\square+4$ 大きい数なので、 $\textcircled{エ}=(\textcircled{ア}+\square)+\square+4=\textcircled{ア}+\square\times 2+4$ より、 $\textcircled{ア}$ 、 $\textcircled{イ}$ 、 $\textcircled{ウ}$ 、 $\textcircled{エ}$ の数の関係は、右の図のようになる。よって、 $\textcircled{ア}+\textcircled{エ}$ は $\textcircled{イ}+\textcircled{ウ}$ より、2大きくなっていて、4つの数の和が570になるとき、 $\textcircled{ア}+\textcircled{エ}=(570+2)\div 2=286$ 、 $\textcircled{イ}+\textcircled{ウ}=286-2=284$ となる。 $\textcircled{イ}$ は $\textcircled{ウ}$ より2小さいので、 $\textcircled{イ}$ は、 $(284-2)\div 2=141$ である。

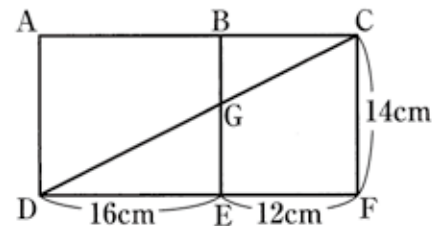


**5** さいころの場合の数の問題

- (1) 2回でAより1マス右の位置に動くのは、奇数の目と偶数の目が1回ずつで偶数の目が奇数の目より1大きくなる時だから、(1, 2), (2, 1), (3, 4), (4, 3), (5, 6), (6, 5)の6通りある。
- (2) 3回の出た目が奇数2回、偶数1回になるときだけAの位置にもどることがある。奇数2回の和と偶数1回が等しくなる組み合わせは、(1, 1, 2), (1, 3, 4), (1, 5, 6), (3, 3, 6)であり、(1, 1, 2), (3, 3, 6)は3通りずつ、(1, 3, 4), (1, 5, 6)は6通りずつ並べ方があるから、全部で $3\times 2+6\times 2=18$ (通り)

**6** 三角柱の側面、切断の問題

- (1) 三角柱を展開図にしたとき、巻きつけた糸は右の図のように2つの面をつなげた長方形の対角線になる。三角形GDEは三角形CDFを $\frac{16}{16+12}$ にした縮図だから、 $GE=14\times\frac{16}{16+12}=8(\text{cm})$



- (2) 切り口より上の立体は四角形ABGDが底面で頂点がCの四角すい、切り口より下の立体は四角形CFEGが底面で頂点がDの四角すいだから、体積の比は、

$$\left[ \{(14-8)+14\} \times 16 \div 2 \times 12 \times \frac{1}{3} \right] : \left\{ (8+14) \times 12 \div 2 \times 16 \times \frac{1}{3} \right\} = \{(14-8)+14\} : (8+14)$$

$$= 20 : 22$$

$$= 10 : 11$$

### 一 説明的文章

- 問 1 語句の本文中での意味を答える問題です。A「かなう」には、「ちょうどあてはまる」、「望んだとおりになる」、「相手として匹敵する」という意味があります。本文中では、ペットボトルやトレイなどを「きれいにしてから捨てること」が「かならずしも『リサイクル』の本来の目的にかなうとはかぎりません」と使われており、この文脈に合う「あてはまる」が正解です。えも「かなう」の意味の一つではありますが、本文の文脈にはふさわしくありません。また、あやいは「かなう」という言葉の意味とは外れています。C「まだしも」とは、「まだわかるが」、「まだ少しはよいが」という意味です。本文中では、おとながプラスチックごみで海を汚すことで、マイクロプラスチックだらけの海が子どもたちに残されうることについて、「自分たちが汚した海で自分たちが苦しむならまだしも、子どもたちを苦しめるのは、絶対にさげたい」と使われています。ここの「まだしも」を「多少はよいが」に置き換えても文意は通るため、え「多少はよいが」が正解です。あも文脈上合うように見えますが、「まだしも」という言葉はあのように限定的な意味ではありません。また、いやうも「まだしも」という言葉の意味とは外れています。
- 問 2 対義語の知識の問題です。B「現実」は、「頭の中で考えるだけのことではなく、実際にある事柄や状態」という意味です。対義語は、「考えられる一番いい状態」という意味の「理想」です。D「生産」は、「自然物を加工して、生活に必要なものをつくること」という意味です。対義語は、「金や物や労力を、つかってなくすこと」という意味の「消費」です。
- 問 3 空欄にあてはまる語を選ぶ問題です。空欄の前後の内容に着目して、正しいものを選びましょう。a の前には「ほんとは、きれいにすればするほど、～かなうとはかぎりません」とあり、a のあとでは「水では汚れが落ちにくいので～石油を使ってしまうことになるのです」とあります。a の前の部分で述べていることについて、あとの部分で具体例を挙げて説明しているため、a にはあ「たとえば」があてはまります。
- 問 4 内容理解の問題です。指示語の指す内容を本文中から探します。ここでの「その」とは、——①の直前に書かれた「それを防ぐために、わたしたちは何をすればよいのでしょうか」の部分です。ここでも「それ」という指示語が出てきますが、この「それ」は、直前に書かれた「このまま何もしないでおくと、やがて地球はプラスチックごみだらけになってしまうかもしれません」の部分を指します。以上をふまえて——①の意味を考えると、「このまま何もせずに、地球がプラスチックごみだらけになってしまうというのを防ぐために、わたしたちは何をすればよいのか」という意味になります。これをまとめているのが正解です。あは、前半の内容は正しいですが、後半の「『マイクロプラスチック』の問題をいかに解決するか」の部分は本文中では述べられていないので適切ではありません。うとえについては、



本文中では述べられていない内容なので適切ではありません。

問5 内容理解の問題です。プラスチックごみを集めて燃やすという処理方法<sup>しより</sup>について述べている部分を本文中から見つけ、その内容として適切でないものを選びます。プラスチックごみを集めて燃やすという処理方法について述べている部分は、——②<sup>ふく</sup>を含む段落から、その二つ後の段落までです。この範囲<sup>はんい</sup>で考えると、あの前半部について、本文中では「手間がかからず、かんたんです」と述べられています。後半部については、「プラスチックを燃やすと二酸化炭素が～ことになります」、「ごみとなったプラスチックを燃やすと『ダイオキシン』という～しなければならないからです」と本文中に述べられています。よって、あは適切です。うについては、「ただし、問題もあります」と述べたうえで、「プラスチックを燃やすと二酸化炭素が～ことになります」と本文中に記述されています。よって、うは適切です。えについては、「プラスチックを燃やして処理するには～ならないからです」と本文中で述べられています。よって、えは適切です。また、いについては、本文中に「プラスチックを燃やすと二参加炭素が発生する」ことで、地球温暖化が進むことは書いてありますが、そのことが地球温暖化の「一番の原因」とは本文中で述べられていません。以上のことから、適切でない選択肢<sup>せんたくし</sup>はいです。

問6 内容理解の問題ですが、プラスチックなどのごみを燃やす場合と、リサイクルする場合を比べて表にまとめた出題形式となっています。本文中で述べられているそれぞれの特徴<sup>とくしゆう</sup>に着目して考えます。□Xは、燃やす場合についての出題です。燃やす場合については、1ページの最後の段落<sup>げんきわう</sup>で言及されています。ここでは「燃やせばごみは小さくなりますが、それでも燃えかすは、どこかにうめなければなりません」と説明されています。□Xには、「燃えかす」の四字があてはまります。□Yと□Zは、リサイクルする場合についての出題です。1ページの下段の後半と2ページの上段では、リサイクルの二つの目的が説明されており、それぞれ設問の表中にまとめられています。一つ目の目的は、1ページの最後の段落で「ごみを減らすため」と述べられています。これに関連して、2ページの上段で「プラスチックごみをリサイクルすれば、そのごみは『ごみ』ではなくて、なにかほかのことに役立つ原料になります」と説明されています。□Yには、この「ほかのことに役立つ原料」の十一字があてはまります。二つ目の目的は、石油や天然ガスといった「地球<sup>しほん</sup>の資源をむだ使いしないこと」とであると次の段落で述べられています。このことを指定字数に合うように言い換えた部分を探すと、2ページの下段に「資源の節約」という言葉が見つかります。したがって、□Zには「資源の節約」の五字があてはまります。

問7 内容理解の問題です。——④の前後の内容に着目して考えます。——④の前では、「汚れたトレーをお湯できれいに洗うとき」、「ガラスのびんを使ってジュースを売るとき」、「食べ物を包むプラスチックを使わないとき」という具体例を挙げて、リサイクルを進めることは、「かならずしも『リサイクル』の本来の目的にかなうとはかぎ」らないと説明しています。つまり、リサイクルを進めようとすることで、逆に別の資源がむだになる可能性がある」と主張し

ています。また、——④の直後では、「プラスチックをできるだけ使わないようにしたとき、かえってむだやごみが増えるのではないか」と述べています。そのうえで「どうすれば資源の節約になり、しかも、プラスチックごみで汚れていない地球でくらすことができるのか」と問題を提起しているのです。これらをふまえると、えが適切です。あは前半部は適切ですが、後半部の内容は本文中では述べられていません。いとうの内容については、本文中では述べられていません。

問8 内容を理解し、空欄を補充する問題です。指示語の指す内容を本文中から探します。ここの「その」は、——⑤の直前の段落の内容を指します。つまり、——⑤は「『荒川クリーンエイド・フォーラム』も、川岸や海岸に流れついたプラスチックごみが、マイクロプラスチックになって長期間海をただようことを防ぐために、ごみを回収することを目的にした団体のひとつである」という意味になります。これをふまえて空欄にあてはまる内容を探します。空欄には、「マイクロプラスチックになって長期間海をただよう」と同義の内容があてはまります。ごみ回収の内容については、3ページの上段最後の段落に詳しく説明されています。「いつかは海に流れこんで、マイクロプラスチックになるのでしょう。」という一文があるので、「海に流れこんで、マイクロプラスチックになる」の二十一字があてはまります。

問9 内容理解の問題です。指示語の指す内容を本文中から探します。ここの「それ」とは、——⑥の直前の「それならば、川や海のそうじなんて、しても仕方ないのでしょうか」の部分です。ここでも「それ」という指示語が出てきますが、この「それ」は、直前に書かれた「川や海をいちどそうじしても、しばらくたつと、またたくさんのごみが流れついて、もとのようになってしまいます」の部分の指します。以上をふまえて——⑥の意味を考えると、「川や海をそうじしても、またもとのように汚れてしまうのであれば、そうじすることはむだなのか、いや、むだではない」となります。筆者がこのように考える根拠は、——⑥の前後の部分で述べられています。あについては、「川岸や海岸のそうじは、もちろん～意味をもっています」と本文中で述べられています。よって、あは適切です。いについては、「すっきりと～なりませんか」と本文中で述べられています。よって、いは適切です。えについては、「部屋をそうじしたときのように、～大切なことです」と本文中で述べられています。よって、えは適切です。うの内容については、本文中では述べられていません。したがって、適切でないものはうです。

問10 内容を理解し空欄を補充する問題です。プラスチックと社会のしくみを関連させて説明している部分に着目して考えます。社会のしくみという言葉を手掛かりにすると、2ページの最後の段落から3ページの最初にかけて、「こうした問題に答えるには、プラスチックごみのことだけではなく、わたしたちの暮らしや社会のしくみ全体を考えていかなければなりません」とあります。「こうした問題」は、直前の「さまざまな社会の問題」を指しています。また、この文全体を見ると「プラスチックは、わたしたちの生活に深く入りこんでいるだけに、さまざまな社会の問題とも結びついています。」とあります。つまり、「プラスチックは

生活に根差しているからこそ社会問題とも密接に関連しているのです。これらの社会問題の解決のためには、目先のプラスチックのことだけではなく、暮らしや社会のしくみ全体を考慮しなければなりません」と述べているのです。したがって、空欄には「わたしたちの生活に深く入りこんでいる」の十八字があてはまります。

- 問11 本文の内容を理解して、それぞれの文の正誤を考える問題です。①～③の文が、それぞれ本文中のどの部分に対応しているかを探し、正誤を考えるようにするとよいでしょう。①は3ページの最後の段落に書かれた内容についての文です。本文中では「海に何百万トンのプラスチックごみが流れこんだとかいわれても、あまりに数字が大きいので実感がわきません」と書かれています。①には「身近なものとして感じられるようになる」とあるので、本文の内容に合致しません。よって、①は間違っています。②は2ページの上段に書かれた内容についての文です。本文中では、プラスチック製品を捨てるときは、「汚れたままではリサイクルしにくいので、水で洗って、ある程度きれいにしてから捨てること」になっており、リサイクルの観点では「きれいにすればするほど、そのプラスチックごみを次のプラスチック製品の原料にするには都合がよい」と書かれています。これは、②の内容と合致します。ほかの資源のことも考慮すると、プラスチックごみをきれいな状態にすることは必ずしも良いとはかぎりませんが、リサイクルという観点のみにおいては、望ましいと述べられています。したがって、②は正しいといえます。③は本文の冒頭に書かれた内容についての文です。本文中では、「わたしたち人間が作りだした～体の中にも入りこんできています」と書いてあります。これは、③の内容と合致します。よって、③は正しいといえます。

## 二 文学的文章

- 問1 登場人物の言動の理由をとらえる問題です。——①のあとの文脈から、このときの状況や父の心情をふまえて考えます。——①のあとに、「大型台風が近づいて」いて、「このあたりを直撃する」かもしれないと書かれています。また、台風によって「かきいれどき」のホテルに宿泊のキャンセルが出ることを心配している母の発言もあります。以上より、拓海の一家はホテルで働いており、台風で宿泊予約のキャンセルが発生することを心配しているとわかります。これらをふまえると、えが適切です。あの「みかん畑にもこれから被害が出るかもしれない」の部分と、いの「ホテルの建物がいたむ心配をした」の部分は、本文中から読み取れないので、適切ではありません。また、うについては、家族は宿泊客の立場ではないため、適切ではありません。

- 問2 語句の知識と登場人物の心情理解の問題です。[X]の前後の内容に着目して考えます。[X]の直前には「隣の家の木が、今にも折れそうなくらい、大きく揺れている」とあり、[X]の直後には「畑の二段目の一番奥にある木」とあります。また、そのあとに「急いでレインコートを探し」、「すぐに羽織り」、タオルと長靴を自転車のカゴに「放り込」む、拓海の慌ただしい様子が書かれています。このことから、強風で折れそうなほど揺れる隣家の木の様子に気づいて「[X]して」、みかん畑の木が無事かどうかを確かめようと、焦って

畑に向かおうとする拓海の様子が読み取れます。したがって、この文脈に合うあ「はっと」が X にあてはまります。

- 問3 場面の様子の理解に関する問題です。このときの長谷川<sup>はせがわ</sup>の木の状況や拓海<sup>たくみ</sup>の心情をふまえ、指定された語句を使って——②の様子を説明します。7ページ下段の真ん中あたりに、「みかんの木たちは強風が～ちゃんという」とあるので、長谷川の木は強風に揺れているものの、今のところ実や枝に被害<sup>ひがい</sup>はないので、ひとまず拓海は安心しているという様子が読み取れます。また、そのあとの「が、突風<sup>とつふう</sup>が吹くと、～落ちそうだ」の部分から、突風で枝が非常に大きく揺れ、このまま続くと実も落ちそうだと拓海が心配していることがわかります。その結果、拓海は木を風雨から守ろうと、——②の行動を取ったのです。このことを指定語句「長谷川」「突風」を使って、五十字以内にまとめます。

例：※突風が長く続いたら長谷川の木についている実が落ちてしまいそうなので、木を雨風から保護しようとする様子。

- 問4 登場人物の心情理解の問題です。——③の前後から、このときの状況や祖父の心情をふまえて考えます。——③のすぐあとに、仁王<sup>におうだ</sup>立ちして「こんなときに何しとるんじゃ。危ないじゃろ」と言う祖父の様子が書かれています。「こんなとき」とは、「『大型台風が近づいている』とき」を指しています。また、「何」は、そのあとの「自転車をとめて坂を上がっていく」という拓海<sup>たくみ</sup>の行動を指しています。これに気づいた祖父は「急いで車で追いかけ」たのです。このことから、台風が近づいているときに、一人で畑へ出かけるという危険な行動をした拓海<sup>たくみ</sup>に対し、心底心配し、強い口調になっていることが読み取れます。以上より、いが適切です。えについては、このとき祖父は、台風の接近中に一人で畑へ出かけた拓海<sup>たくみ</sup>の危険な行動に対して注意しているのであって、木を守ろうと傘<sup>かさ</sup>をさす拓海<sup>たくみ</sup>の行動について言及する様子は本文から読み取れません。あとうについては、本文中から読み取れないので、適切ではありません。

- 問5 内容理解の問題です。——④の「ひなたちゃん」は長谷川のことなので、「長谷川の木」という言葉を手掛かり<sup>てがかり</sup>に考えます。7ページの下段の後半に「一番奥にある長谷川の木も無事だった」とあります。「一番奥」をさらに詳しく説明している部分を探すと、7ページ下段の最初に「畑の二段目の一番奥にある木」と書いてあります。したがって、「畑の二段目の一番奥」(九字)の最初の三字の、「畑の二」があてはまります。

- 問6 登場人物の心情理解の問題です。——⑤の前後の文脈から、このときの拓海と祖父の心情をふまえて考えます。——⑤の前の部分に、「台風が来てからじゃ、もう遅い」と祖父に言われてがっかりする拓海の様子が書かれています。そんな拓海を見て、祖父は「ちょっとやわらかな声」で「今回の台風はたぶん大丈夫じゃ」と言い、「わざわざ来たんじゃ。拓海<sup>たくみ</sup>の気がすむように何かやるか」と声を掛けています。木の心配をする拓海<sup>たくみ</sup>の思いをくみ、不安がなくなるよう声掛けをしたうえで、拓海<sup>たくみ</sup>が納得<sup>なっとく</sup>できるよう、一緒に木を守るための作業をし

ようにする様子がわかります。以上より、いが適切です。うについては、祖父が今尊重しようとしているのは、ひなたではなく拓海の思いなので、適切ではありません。あとえについては、本文中から読み取れないので、適切ではありません。

問7 登場人物の心情理解の問題です。——⑥の前後の内容に着目して考えます。——⑥の前の部分で、拓海は祖父に実をもぐ判断基準を聞いています。祖父は、日焼けによる変色と実の大きさを判断していると説明し、拓海も「ほんまじゃ」と一度は納得しますが、祖父の作業の様子を見ていても、——⑥のように「やっぱりよくわからない」と感じます。さらに、——⑥の直後に、「さっきの説明のような～取っているのか」と書かれています。判断基準について一度説明を受けたものの、「どれを取り、どれを残すか判断が早い」祖父の作業の様子を見ていても、日焼け以外の基準について理解しにくい拓海の様子がわかります。以上より、あが適切です。うについては、大きすぎるものや小さすぎるものもぐという祖父の説明を聞き、「ほんまじゃ」と素直に納得している本文中の拓海の様子と合致しません。えについては、「何一つわからない」の部分が適切ではありません。いについては、本文中から読み取れないので、適切ではありません。

問8 登場人物の心情理解の問題です。——⑦の前後の内容に着目して考えます。——⑦の前の部分に、祖父の摘果の作業を難しそうだと思いながら見ている拓海の様子と、長谷川が自分で摘果の作業を終えていると拓海が知ったことが書かれています。——⑦のあとの部分では、拓海はクラスメイトの柴も摘果に関連する知識を持っていることを思い出しています。拓海は摘果が難しそうだと感じ挑戦しませんでした。長谷川や柴は既に自分で経験していたり知識を持っていたりすることについて、「みんな、すごい」と言っていることがわかります。以上より、え「感心」が適切です。

問9 人物像の理解の問題ですが、生徒の会話を用いた特徴的な出題形式となっています。ここでは生徒たちが話題にしている「拓海」の言動が、本文中にどのように述べられているかに着目して考えます。会話の中で、森本さんは「『拓海』の『Y』という言葉からは、祖父に対する尊敬の気持ちが感じられます」と述べています。また、「『拓海』はみかん作りに興味がないのではなく、摘果という作業の難しさと大切さを理解しているからこそ遠慮したんじゃないかと思います」とも述べています。そこで、拓海が祖父の摘果の作業を見ている場面を本文から探すと、9ページの下段に、「いや、やりたくない。すごいなあと思って見とるだけ」という記述が見つかります。よって、Yにはこの「すごいなあと思って見とるだけ」の十四字があてはまることがわかるので、「すごいなあと思」の七字を答えます。また、梅田さんは「『拓海』が、祖父の説明を聞くだけでなく、作業をよく観察し、自分なりに摘果の基準について考えている姿勢からは、みかん作りへの興味が読み取れます。つまり『拓海』は、最初は確かに興味がなかったけれど、Zんじゃないかと思います」と述べています。この発言に対応した本文中の記述を探すと、「どういう基準でもぎよるん？」という拓海の質問に、祖父が説明しながら答える場面が見つかります。そのあとに、「しばらくじ

いちゃんが摘果しているのを眺めていた」拓海が、日焼けしたもの以外はどのような基準で取っているのかと、自分で思考する場面が続きます。また、「じいちゃんは枝の向きや形を見てさっと取っていく」という記述から、拓海が祖父の摘果の作業を注意深く観察していることがわかります。そして、難しい作業をこなす祖父に対して「すごいなあ」と発言しています。さらに長谷川が自分で摘果の作業をしたことを知ったり、「柴も、葉っぱが二十五枚につき一個の実がちょうどいいと言っていた」ことを思い出したりし、「みんな、すごい」と言っている記述があります。以上より、祖父とのやりとりや、長谷川と柴から影響を受けている拓海の様子がわかります。よって、Zにはうが当てはまります。

問10 人物像の理解の問題です。祖父の言動が、本文中にどのように述べられているかに着目して考えます。祖父は、本文中の中盤と終盤に登場します。中盤では、危険な行動をする拓海に対し、「おいっ」、「こんなときに何しとるんじゃ。危ないじゃろ」と仁王立ちで真剣に注意しています。その一方で、台風対策は手遅れだと知り落ち込む拓海に対して、「ちょっとやわらかな声」で大丈夫だと言ひ、拓海の気がすむように一緒に作業をし、「心配なら明日、また様子を見にくるんよ」と伝えます。以上のことから、拓海の思いを尊重しつつ、時と場合に応じて程よい距離感で拓海に接している姿が読み取れます。終盤では、「みんな、すごい」と言う拓海に対し、「拓海もすごいよ」と言います。それに対し「なんもすごくない」と言う拓海に、「いや、すごいスピードで変わりよる」と言って笑います。ここからは、拓海がぐんぐん成長していることを実感し、それを喜んでいる姿が読み取れます。よって、祖父の人物像として当てはまるものは、えであると判断できます。あの「将来の跡つぎとして拓海に期待を寄せ」の部分、いの「情熱を燃やし」の部分、うの「冷静に接する」の部分については、本文中から読み取れないので、適切ではありません。

問11 人物像の理解の問題です。拓海の言動が、本文中にどのように述べられているかに着目して考えます。最初の部分では、台風が接近する中、長谷川の木を守るために急いで畑に向かう様子が書かれています。ここからは、思い立ったらすぐ行動する姿が読み取れます。中盤では、祖父に注意されたときに「ごめん」とすぐに謝る様子が書かれています。また、終盤では、拓海には摘果の作業は難しいかもしれないと祖父から告げられたとき、反論せずに「うん、難しそう」と答える様子が書かれています。さらに、長谷川は自分で摘果を済ませていることを知り、柴も摘果について詳しく知っていることを思い出したときに、「みんな、すごい」と言う様子が書かれています。これらから、言われたことに対して素直に反応する姿が読み取れます。一方、最後の部分では、摘果をやりたいか祖父に尋ねられたときに、「いや、やりたくない」と断る様子が書かれています。ここからは、難しそうなことに対しては慎重な姿勢が読み取れます。よって、拓海の人物像として当てはまるものは、いであると判断できます。あは前半は正しいですが、後半の「何事にも臆病」という部分は本文中から読み取ることができません。うとえについては、本文中から読み取れないので、適切ではありません。

問12 省略されている文の内容を理解し、どの部分に挿入すべきかを考えます。省略された文には「『この』木」という指示語が含まれています。ですから、この文の前に、指示語が指す木について書かれているのではないかと予想できます。また、「この木だけをひいきして悪い気がして、隣の木にもかけた」とあるので、「この木」に何かを「かけ」る場面が直前にあったと考えられます。そういったことを考えながら、この文を挿入する場所を考えます。本文中のあの前の記述を読むと、長谷川の木と竹の棒を祖父がロープでくくり、そのあいだ拓海が竹を支えている場面であるとわかります。また、本文中のいの前の記述を読むと、長谷川の木に被害がないことを拓海が確かめて安心する場面であるとわかります。よって、あといは、木に何かをかける場面ではないので、違います。本文中のうの前の記述を読むと、雨風で汚れた長谷川の木や葉を、拓海が水で洗い流す場面であるとわかります。「長谷川の木」に水を「かけ」る場面であり、省略された文が入ることによって、文意が通ります。よって、うが正解です。また、本文中のえの前の記述を読むと、祖父が畑の下で摘果をしている場面であるとわかります。よって、えは、木に何かをかける場面ではないので、違います。以上より、うが正解です。

問13 内容理解の問題です。選択肢の文が、それぞれ本文中のどの部分に対応しているかを手掛かりにし、考えます。あの「拓海は大型台風が来るというニュースを聞いてからみかん畑のことを心配していた」の部分は、本文から読み取ることができません。よって、あは違います。また、いの「木全体を守る他の方法がないか、祖父に質問した」の部分は、本文から読み取ることができません。よって、いは違います。うは本文最後の場面に着目して考えましょう。前半部は、本文中の「拓海はしばらく…見とるだけ」という記述から、拓海が祖父の作業を積極的に観察し、「すごいなあ」と発言した様子を読み取れるので、正しいことがわかります。後半部については、本文中の「拓海はふと…また笑った」という記述から、拓海が無意識にすごい速さで成長していることに気づき、笑顔になる祖父の様子を読み取れます。以上より、うは正解です。えの「うんざりしていた」の部分は、本文から読み取ることができません。

### 漢字・語句

問1 漢字の読み書きの問題では、ていねいに書く意識を持ちましょう。雑で読めない文字の場合は正答になりません。①の「君臨」の「臨」は、筆順に注意が必要な漢字です。②の「弁論」の「弁」も、筆順に注意が必要な漢字です。③の「射」は、「発射」「注射」などの熟語で使われ、いるという意味があります。④の「編曲」の「編」は、「あ(む)」という訓読みがあります。⑤の「賃金」の「賃」は、「貸」という漢字と形が似ているので、注意が必要です。⑥の「快い」は、送り仮名に注意が必要な漢字です。

問2 同訓異字についての問題です。新しい漢字を覚えるときには、その漢字の意味も覚え、代表的な熟語や使用例も言えるようにしておきましょう。①農作物を「つくる」は、「作る」と書きます。「作」には、人の手でつくるという意味があります。貨物船を「つくる」は「造る」

です。「造船」という言葉を手がかりに考えるとわかりやすいでしょう。「創」には、新しくつくり出すという意味があります。よって、使われていない漢字は「創」です。②成功を「おさめる」は「収める」と書きます。「収」には、手に入れるという意味があります。国を「おさめる」は、「治める」と書きます。「統治」という言葉を手がかりに考えるとわかりやすいでしょう。「修める」は学問を「修める」などの使い方をします。「修学旅行」という熟語をヒントに考えるとわかりやすいでしょう。よって、使われていない漢字は「修」です。

- 問3 対義語の問題です。①「許可－禁止」、②「拡大－縮小」、③「部分－全体」、④「反対－賛成」、⑤「集合－解散」、⑥「未来－過去」という組み合わせです。熟語は、意味とともに知識を整理して覚えましょう。

#### 四 語句・言葉のきまり

- 問1 ことわざの知識の問題です。ことわざの中にはおもしろい言い回しをするものがたくさんあります。日常生活の中で耳にした言い回しの意味を気にするようにしたり、ことわざの本を読んだりして、積極的に覚えましょう。①は「能あるたかは爪をかくす」です。この「たか」は鳥の「鷹」です。鷹は非常に鋭い爪を持っていますが、狩りの直前まで相手に気づかれなように爪をかくすというところから、ことわざとしてえの意味で使われます。②は「えびで鯛を釣る」です。価値の低いものをえさに、価値の高いものを釣るということから、ことわざとしての意味で使われます。
- 問2 四字熟語の知識の問題です。①は「四苦八苦」で、「非常に苦しむこと」という意味の四字熟語です。②は「一朝一夕」で、ひと朝かひと晩というところから、「短い期間」という意味の四字熟語です。③は「八方美人」で、どこから見ても短所のない美人というところから、「だれからも好かれようと要領よくする人」という意味の四字熟語です。④は「朝三暮四」で、「目先の差にとらわれて、結局は同じ結果になることに気がつかないこと」という意味の四字熟語です。①から④までの空所にあてはまる数字を合計するといの21になります。
- 問3 文節の係り受けの問題です。文節がどこにかかるかは、その文節とかかる文節だけをつなげてみて、うまく意味が通るかどうかを考えるとよいでしょう。①の「毎日」は、㉞「集める。」にかかります。いつ「集める」のかを「毎日」が詳しく説明しています。②の「めずらしく」は㉝「遅かったが」にかかります。
- 問4 A 敬語の用法の問題です。敬語には尊敬語・謙譲語・丁寧語の三つがあります。尊敬語と謙譲語は動作主が誰かによって使い分けられます。設問の会話で始めに話している人は、ケーキ屋さんに電話をかけているお客さんです。店員と客という立場では、客の方が立場が上かもしれませんが、お客さんであっても、あまりしっかりとした関係ができていない相手である店員さんに対しては、丁寧な言葉で話すことが一般的です。ここでは、お客さんが、写真の送り方を店員さんに聞いています。「ケーキを作ってもらうために写真を渡す」の



はお客さんなので、謙譲語を使います。あるいは、店員さんが写真を受け取ると考え、尊敬語を使います。これらをふまえると、「渡す」の謙譲語を正しく使っているえが適切な表現です。あは写真を「見る」という動作の主体は相手である店員さんですが、「拝見<sup>はいけん</sup>」という謙譲表現になっているので間違いです。いは「お届けになる」という尊敬語を使っていますが、「届ける」という動作の主体はお客さんなので、間違っています。うは「お送りいたします」という謙譲語を使っていますが、「お送りいたしましょうか」「お送りいたしましょうか」などとすべきなので、間違っています。

- B 次に話している人は店員さんです。店員さんは、「持ってきてもらえますか」とお客さんをお願いしています。店員さんがお客さんに来てもらうので、謙譲語を使います。あるいは、お客さんが店員さんに持って行くと考え、尊敬語を使います。これらをふまえ、正しく謙譲語が使われているのはあです。「お持ちいただく」は「持ってきてもらう」という言葉に「お」をつけ、「もらう」を「いただく」に変えた謙譲語です。いは「お持ちください」という尊敬語を使っていますが、「申し上げて」の部分が誤り<sup>まちが</sup>です。うは「お持ちいただけますか」という謙譲表現を使っています。しかし、「なられて」の部分が誤りです。えは「お持ちいたしましょう」という謙譲表現を使っています。「持つ」という動作の主体はお客さんなので、ここで謙譲表現を使うのは誤りです。

2022年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日) 成績参考資料

【プレテスト全体結果】

平均得点

教科	得点
国語	97.4
算数	69.3
国算計	166.7

受験者数	388
欠席者数	50

【6年選抜コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	国算計	
A(合格安全圏)	212	69	120.6	112.5	233.1	64.6
B(合格可能圏)	180	74	106.8	89.5	196.3	56.5
C(有望圏)	153	95	97.7	69.3	167.0	50.1

【6年進学コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	総合	
A(合格安全圏)	180	143	113.5	100.6	214.1	60.4
B(合格可能圏)	153	95	97.7	69.3	167.0	50.1
C(有望圏)	119	91	89.6	47.6	137.2	43.5

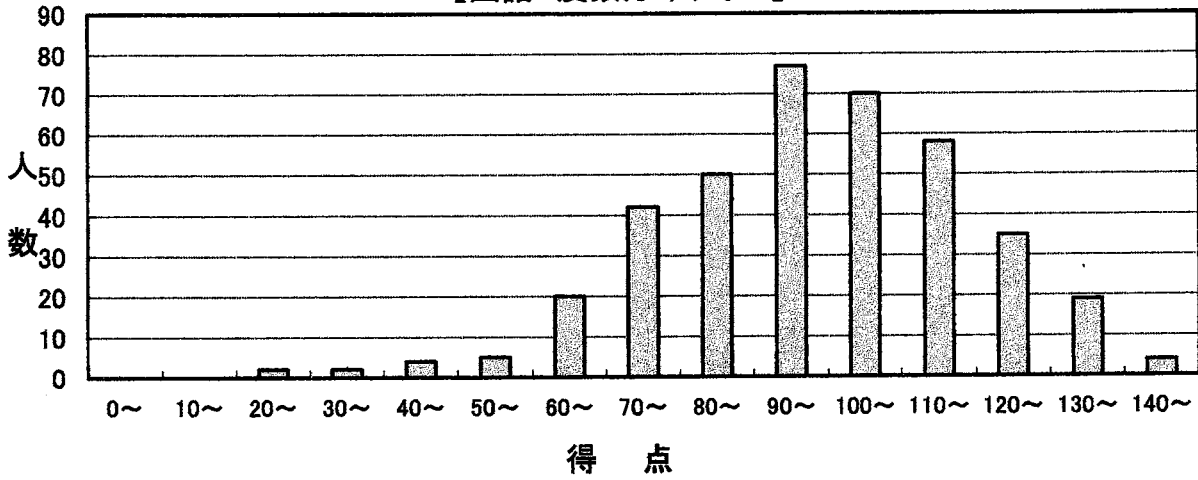
※表中の数値は、A・B・Cそれぞれの幅に入っている受験生の人数・平均点等を示しています。

## 2022年度入試 桃山学院中学校 第2回 プレテスト(11月23日) 合格判定基準詳細

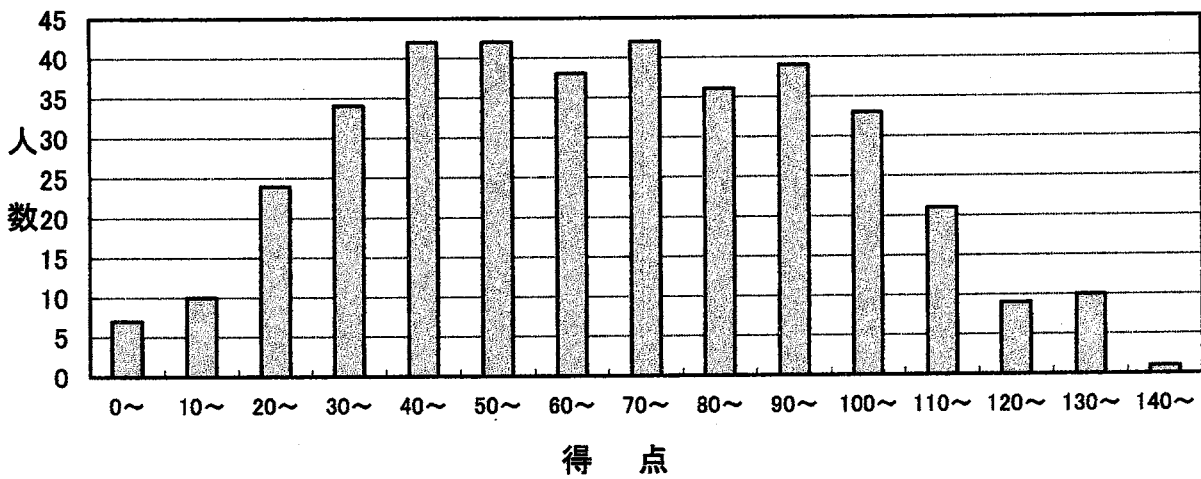
判定	内 容	2科目プレテストの基準点	
		選抜コース	進学コース
<b>A判定</b> (合格安全圏)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">                     合格率 90～98%                 </div>	現在の国語・算数の実力から見れば、ほぼ安全圏です。 ただし、A方式入試には理科・社会もあります。理科・社会の得点も合格には大きな影響を及ぼします。国語・算数に関しては、今の調子を維持し、体調管理にも気を配り、万全の態勢で入試に臨んでください。油断は禁物です。A～C方式までチャレンジすれば合格は確実なものとなります。	212/300	180/300
<b>B判定</b> (合格可能圏)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">                     合格率 80～95%                 </div>	現在の国語・算数の実力から見れば、「合格」の可能性は大いにあります。この実力を入試本番までにさらに高めるように、より一層の努力を期待しています。 ただし、A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。 入学試験には、「自信」をもって臨んでください。また、A～C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性は更に高まります。	180/300	153/300
<b>C判定</b> (有望圏)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">                     合格率 50～80%                 </div>	現在の国語・算数の実力から見れば、合格圏内に入るには今後の努力が必要です。国語・算数に関しては、これまでの学習を振り返って、自分の弱点を見つけ、その補強に努めて下さい。全体の得点率の高い基本問題は確実に解けるように頑張りましょう。これからの頑張り次第では、十分「合格」をねらえます。 A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。また、A～C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性は更に高まります。	153/300	119/300
<b>D判定</b> (努力圏)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">                     合格率 10～40%                 </div>	現在の国語・算数の実力から見れば、「合格」するためには、かなりの努力が必要です。国語・算数に関しては、これまでの学習を振り返って、自分の弱点を見つけ、その補強に努めて下さい。全体の得点率の高い基本問題は確実に解けるように頑張りましょう。 A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が非常に得意な生徒は、合格する可能性もあります。また、A～C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性はかなり高まります。	/	/

2022年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日実施) 教科別総括

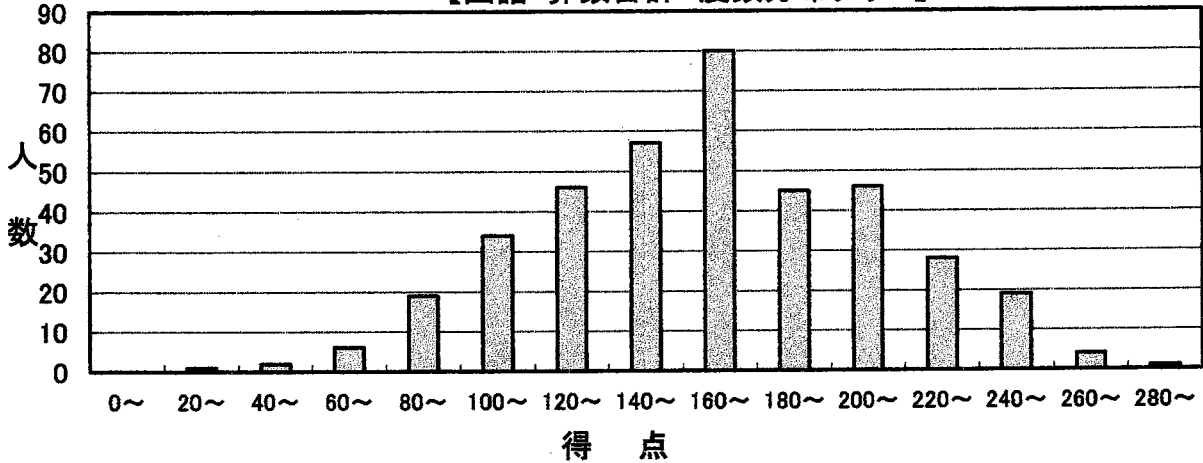
【国語 度数分布グラフ】



【算数 度数分布グラフ】



【国語・算数合計 度数分布グラフ】



**国語**

◆大問一

プラスチックごみ問題についての考察が述べられた文章。身近な問題であったため得点率も全体的に良好であったようだ。SDGs問題は今後も様々な場面で目にすると思われる。普段からの心がけが重要と思われる。

**正答率が高かった問題**

問2 (対義語の問題) 及び問3 (接続詞の問題)。基本事項は押さえられているように思われる。

**正答率が低かった問題**

問6のZ (文脈からの語句補充問題)。リサイクルすることによって石油や天然ガスといったZになる。というもののだが、字数制限のかかった空欄補充のため、合いそうな言葉を何とか探そうとしたようだが、文脈に最も適当なものを入れたい。

◆大問二

控えめな主人公が祖父の助力を借りながら、育てているみかんの木を風雨から守る作業を通じて成長していく物語。登場人物を把握することが苦手な生徒がやや多い印象。

**正答率が高かった問題**

問2 (文脈に応じて言葉を補充する問題) 及び問4 (序盤の内容把握)。よく理解出来ていた。

**正答率が低かった問題**

記述問題。傍線部前後をまとめるだけであったが、苦戦したようだ。気になった点はそもそも主語が間違えている (長谷川という「川」と認識して文が書かれている。傘で作業しているのは「長谷川」など)。字数が少なすぎる (8割は目指してほしい)。口語表現で書かれている (~けど、~てる、など)。などが散見された。書く前に主語、記述の方向性を考えてから書く習慣を身につけたい。

◆大問三

**正答率が高かった問題**

全体的に良好であったようだ。基本的事項を押さえてくれていると感じた。

**正答率が低かった問題**

こちらも全体的に良好であったようだ。基本事項でしっかり得点出来ていた。

※どの設問にも言えることだが、記号を脳内で勝手に変換してしまっている生徒がいる印象。

(例) 「あ」を「ア」や「a」と書く、など。

答え方にも気をつけたい。

**算数**

◆大問1 (計算問題)

(4) の出来があまり良くなかったです。単位の換算は暗記するしかありません。必ず復習しておいてください。分数や小数を含む計算は毎年出題しています。工夫して計算すると簡単になりますので、しっかり考えてから問題に取り組みましょう。

◆大問2 (小問集合)

基礎的な内容を幅広く出題しています。いずれの問題も、考え方を丁寧に確認し、間違いを無くしましょう。配点が高いので、充分に対策をしてください。(3) の正答率が低かったです。よくある問題ですので、しっかり復習をしましょう。

◆大問3 (割合の問題)

(1)、(2) とともにあまり出来ていませんでした。間違えた人は、同じような問題に何度もチャレンジをしてください。

◆大問4 (奇数の規則性の問題)

正答率が低かったです。規則性が理解できるまで、何度も読み直しましょう。

◆大問5 (さいころの問題)

(1) が不正解だった人は、数え方が少なかった人だと思います。見落とさないようにしましょう。

◆大問6 (三角柱の問題)

(2) は時間が足りなかったのか、正解率が悪かったです。時間配分に気を付けて、解ける問題を確実に得点できるようにしましょう。

# 中学入試問題の出題意図－1

## 国語

### ①漢字の知識

- ・小学校学習範囲の漢字を、正しく読み書きできるか。
- ・部首や筆順、音訓、熟語の構成など発展的な漢字の知識が身についているか。

### ②語句・文法の知識

- ・現代国文法の基礎的な知識を理解しているか。
- ・ことわざや慣用句、四字熟語、外来語の意味や日常生活の中での使い方を理解しているか。

### ③文学的表現の読解力

- ・文学的文章（物語・小説）を読み、場面の移り変わりや登場人物の心情などについての的確に読み取れるか。
- ・読み取った内容についての的確に要約し、自分の言葉で表現することができるか。

### ④論理的文章の読解

- ・論理的文章（説明文・論説文）を読み、内容や論理の展開および筆者の主張や結論を正確に読み取れるか。
- ・読み取った内容についての的確に要約し、自分の言葉で表現することができるか。

### ⑤受験生へのアドバイス

- ・漢字については、単に読み書きできるだけでなく、部首や画数、音読み訓読みの区別、送り仮名などについても十分に理解を深めておこう。
- ・ことわざや慣用句は、意味を機械的に暗記するだけでなく、日常生活の様々な場面や会話の中での適切な使い方を習得しておこう。
- ・文章を読んだ時に、簡単なあらすじを人に説明出来るように、普段から心がけよう。
- ・普段から新聞や物語、問題集の文章をより多く読むことで、様々な分野についての知識や高い読解力を身につけるとともに、60～100字程度で内容を要約したり、自分の考えを表現したりする力を身につけておこう。

## 算数

### ①計算について

- ・出題のねらい…整数・小数・分数の四則演算や逆算を、正しくできるか。
- ・配点…約30点

### ②一行問題集合(基礎・応用・発展)について

- ・出題のねらい…各分野の一行問題集合(基礎・応用・発展)を理解しているか。
- ・配点…約40点

### ③各分野の問題(文章題含む)について

- ・出題のねらい…各分野の問題について理解しているか。
- ・配点…約80点(うち、基本～標準を約6割、応用・発展問題を約4割出題)

### ④受験生へのアドバイス

- ・計算分野…すべての基礎となるので、十分に練習しておこう。
- ・基本分野…応用力養成のためにもおろそかにせず、いつでも使用可能なように徹底的に定着させておこう。
- ・応用分野…定型化された思考にしばられないように、条件を整理してあらゆる可能性を試すように、訓練しよう。

## 中学入試問題の出題意図－2

### 理科

#### ①物理・化学・生物・地学各1題ずつ

- ・配点…約25点ずつ
- ・基本的事項を理解しているか。
- ・実験や観察結果などから分析、考察する力がついているか。
- ・応用した計算などができるようになっているか。
- ・また、各教科に関連した時事問題に関心をもっているか。

#### ②受験生へのアドバイス

- ・教科書でよく取り上げられる実験、観察方法などをまとめておきましょう。そして実験方法や計算だけに注意するだけでなく、応用できるよう物事の本質を理解しましょう。環境や自然科学に関連するニュースに興味を持ち、現代の課題に関する知識を深めておきましょう。

### 社会

#### ①地理が2題（各20点）、歴史・公民分野各1題（30点）ずつ

- ・出題のねらい…各分野における基礎的知識を、正しく理解しているか。また、幅広い視野を有しているか。※各分野をまたがって出題することもある。

#### ②受験生へのアドバイス

- ・地理分野…世界の主な地形・国名・地域名などを中心に基礎的な用語を整理し、また日本の地域の特徴・産業の結びつきなどをまとめておこう。
- ・歴史分野…歴史資料や年表に注意するだけでなく、テーマごとに歴史的事項の原因・経過・結果といった流れを把握しておこう。また、時事問題などにも幅広く関心を持つとともに、歴史事象を関連づけながら学習しよう。
- ・公民分野…公民分野を学習する際には、用語とその意味などの基礎的なことを理解するとともに、事ごとの歴史的経緯も理解するように努めよう。新聞などを読み、現代社会がかかえている様々な問題や、今起こっている出来事にも目を向け、公民分野の知識と関連させながら学習しよう。

# 国語入試問題の出題内容について

## 1. C方式の出題形式

### ◇C方式入試（国語/表現力テスト）

通常の長文読解問題として2000～2500字程度の長文を読み、設問に答える形式の問題を1問出題します。ここには、漢字や語句・文法問題も含まれます。（100点/150点中）

また、表現力テストとして300～400字で、与えられたテーマに従って文章を作成する形式の問題を出題します。（50点/150点中）

## 2. 表現力テストについて

本校C方式入試では、「国語/表現力テスト」として、単なる文章読解力を問う形式のテストに加え、より実践的に文章構成力や表現力を問う形式のテストを行います。「表現力テスト」は、以下のような力を量ることを目的として行われます。

- ①発想力……与えられたテーマに基づき、それにふさわしい内容の文章をその場で考え出す力。
- ②文章構成力…考え出した内容を、定められた文章量や形式に従って一定時間内で書ききる力。
- ③文章表現力…原稿用紙の正しい使い方を守り、自分の考えを適切でていねいな言葉づかいおよび文字づかいで表現する力。「文のねじれ」等がなく、きちんとした文章を書く力。

### 採点基準

- ①与えられたテーマにふさわしい内容が書けているか。
- ②句読点の表記や記号の使い方等を含む、原稿用紙の正しい使い方ができているか。
- ③誤字・脱字や文法上の誤り、「文のねじれ」等がないか。  
また、接続詞や助詞が適切に使えているか。
- ④字数を守り、ていねいな文字で書かれているか。
- ⑤内容のまとまりにより、段落構成が正しくできているか。

※試験時間は50分です。その時間内で長文問題の読解と文章の作成、文章の見直しをバランスよく行ってください。



二〇二二年度

### 中学校入試「国語A・B・C方式」

☆出題傾向は大きくは変化しませんが、新傾向の問いも考えています。

☆抜き出し問題の抜き出しミス(誤字・脱字)→X

☆誤字脱字・読めない字→減点かX

☆できるだけ漢字を使う。(読みやすい)

☆記述問題→文字数を厳守。

※X字以内でという場合はXの8割以上書く。8割未満→X

※8割目のマスに「。」はOK

※X字以上Y字以内の場合、X字未満→X Y+1字以上→X

☆記述の仕方(例が書いてあれば同じように書く。自分でアレンジしない)

☆入れるべきキーワード→必ずすべて書く(順序は問わない)

☆文末の「。」必ずつける。

※「なぜ〇〇なのか。」→〇〇だから。

※「どのようなことか。」→〇〇というじゆん。

※「どのような気持ちか。」→〇〇という気持ち。

※「どのような様子か。」→〇〇という様子。

※「どういう人か。」→〇〇という人。

など、基本的には問いのオウム返しだ。

ただし、

☆キーワードがすべてあり、文字数も満たしていても、文章自体の意味が?はX

※主語・述語のねじれがある→X

※言葉の使い間違え→X

※句読点のない長文→減点かX

☆文字に関しては、達筆は不要→楷書で一画二画しっかり、はっきり書く。

続け字で、画数が変わることがないように。

☆えんぴつ(シャープペンシル)の字の太さ→太い字は読みづらい。

☆消しゴムの使い方が悪いのか、消しゴム自体が悪いのか、信じてほしい。

なっている答案や箇所がある→X

☆「。」は過不足なく。一文が長すぎても短文の連続などがないように。

☆「?」「や」「ー」は会話文以外には使わない。

☆答案を丁寧を作成し、「採点者を自分の味方にする」

### C方式 作文の書き方・注意点

☆段落指定があれば必ず従う→「段落なら」二段落で。 **すべて改行をしない**

☆文字数指定があれば必ず従う→何百字以上何百字以内。

☆「文末の統一」 ↓ 「だ。」 「〜だよね。」

または 「〜です。」 「〜です。」 で統一。

☆「思ったことは〜と思った。」 「感じたことは〜と感じた。」 ……×

「思ったことは〜というんだ(です)。」 ……○

「感じたことは〜というんだ(です)。」 ……○

☆作品名や引用文・会話文は「」をひく。

☆誤字脱字注意。書き直す時は消しゴムを「端」で使う。答案を汚くしない。

☆原稿用紙の使い方→段落の最初の「マス」を空ける。

文末の「。」をひく。原稿用紙各行の頭「」「。」が来ないように。

☆会話文の最後は「マス」。

☆会話文以外で、話し言葉(口語的表現)・大阪弁は使わない。

#### 具体例

- ・「たむ」……×
- ・「たむ」……○
- ・「あは」……×
- ・「あは」……○
- ・「ちやん」……×
- ・「ちやん」……○
- ・「つうじ」……×
- ・「つうじ」……○
- ・「今うち」……×
- ・「今うち」……○
- ・「じゃな」……×
- ・「じゃな」……○
- ・「あひな」……×
- ・「あひな」……○
- ・「あは」……×
- ・「あは」……○
- ・「AがBか」……×
- ・「AがBか」……○
- ・「ううか」……×
- ・「ううか」……○
- ・「だっただ」……×
- ・「だっただ」……○
- ・「んじ」……×
- ・「んじ」……○
- ・「んだな」……×
- ・「んだな」……○
- ・「してた」……×
- ・「してた」……○
- ・「してる」……×
- ・「してる」……○
- ・「いんな」……×
- ・「いんな」……○
- ・「じんな・そんな・あんな・むんな」……×
- ・「じんな・そんな・あんな・むんな」……○

☆最後に他人になったつもりで「推敲」する。 以上 国語社